

3月 春本番はそこまで！



コロナが一応終息したのは昨年春。しかしまだまだイベントの全てが解禁ではありませんでした。去年の秋ぐらいからやっと、大きな催しものが行われはじめ、五行歌界も、昨秋の東京での全国歌会開催、年末のきんきサロン記念歌会など、多人数での歌会が再開されはじめました。そして本年2月11日には待望の「関西新春合同歌会」が京都テルサにて、草壁主宰をはじめ61名参加で盛大に行われました。詳細レポートは本誌四月号に掲載されますが、きんきサロンメンバー及び歌友の皆様方も多数参加され、いぶやん氏(1席・草壁賞)、野田凜氏(3席)、仁田澄子氏(4席)、ティーズ氏(5席)、玉虫氏(小歌会1席)、浮游氏(〃)、と赫々たる成績を収められました。おめでとうございます。平素の歌会での皆様の勉強の成果だと、代表といたしましては大変うれしく感じております。

3月例会、ダントツ1席は、季節に沿った完成度の高い叙景歌で黒田節子氏。2席は2首で、能登地震災害の現場を詩人の感性でスケッチされた玉虫氏、初春の雄大な景色を鮮やかな黄色で描いた小倉はじめ氏、3席は歌会にユリの香りを届けて下さった倭氏でした。パチパチ。冒頭の琵琶湖畔守山市の菜の花写真は編集長撮影。(いぶ記)

【304回きんきサロン歌会結果】

1
最終コーナー手前
全力で駆けて来た
わたしのスタイル
まだ手綱は緩めない
ゴールはまだまだ先よ
西村康則 10点 次点

2
イヤイヤをして
顔色をうかがう
君はもう人間社会へ
足を踏み入れたのか
頑張れ九ヶ月児
坂東和代 6点

3
大学一年生
社会人一年生
二人の孫に
ピッカピカの
元気を貰う
平村幸子 *

4

災害の
ゴミ置き場に
電子ピアノ
雨音に誘われ
ハミングする

玉虫 14 点 同二席

5

寒い夜の
あったかおでん
お酒も少し
一人鍋にも
すっかり慣れて

二宮信子 8 点

6

丸まった
背中を伸ばし
蠟梅に
鼻近づけて
春を吸い込む

黒田節子 20 点 一席

7

如月の
菜の花畑
借景の山並み従え
どうだと
今年も胸張っている

小倉はじめ 14 点 同二席

8

年の功とは
このことか
上手に翻る
私の負け
一本

HIKARIKO 6 点

9

寢室にまで
仄かに
香りをとどける
仏壇に供した
ゆりの花

倭 11 点 三席

10

ほぼ用なしだと
観念した団塊世代が
社会正義に
目覚めてしまった
これはマターとなる

天河童 6 点

11

ニュースをお伝えいたします
ガザでは死者 20 名
キーウでは死者 6 名
続いて紅白歌合戦を
お楽しみ下さい

いぶやん 8 点

「*」(花印) は 5 点以下・点数非開示

■ (参加者 11 名)

天河童・いぶやん・小倉はじめ・
黒田節子・倭・玉虫・西村康則・二宮信子・坂
東和代・HIKARIKO・平村幸子・

■ 4 月例会：4 月 7 日 (日)

会場・ウイングス京都 2 F 第二会議室
・午後 1 時開場、1 時半～5 時、歌会。

●歌メ切：4/5 自由詠 1 首 いぶやん宛メールで

■今回、余韻会は「ともしび」へ

烏丸六角の居酒屋「ともしび」へ。いぶや
ん・はじめ・天河童・倭・二宮・黒田・西村の
7 人で繰り出しました。初めてのお店でしたが、
今日も歌会は 16 時過ぎにお開き、お店 16 時か
ら開店、ウイングス京都から近いと好都合で探
訪となりました。19 時まではハッピーアワーと
かで生ビール@250 とお財布に優しい。店長が
気を効かせてくれてマグロカマ焼きを無料で。
大鉢に盛られた締め焼きそばおいしくいただき
大満足。これからも通いそうです。(はじめ記)

